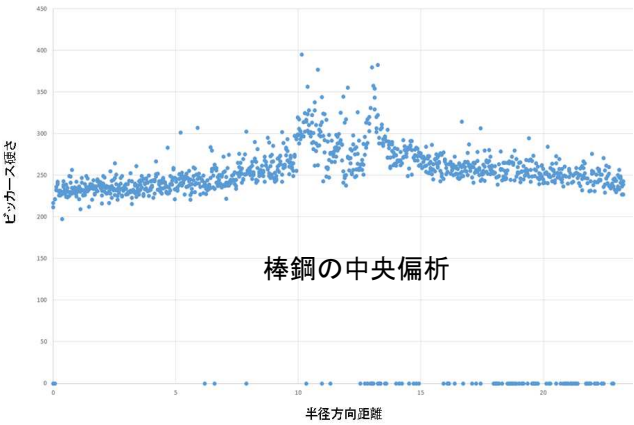
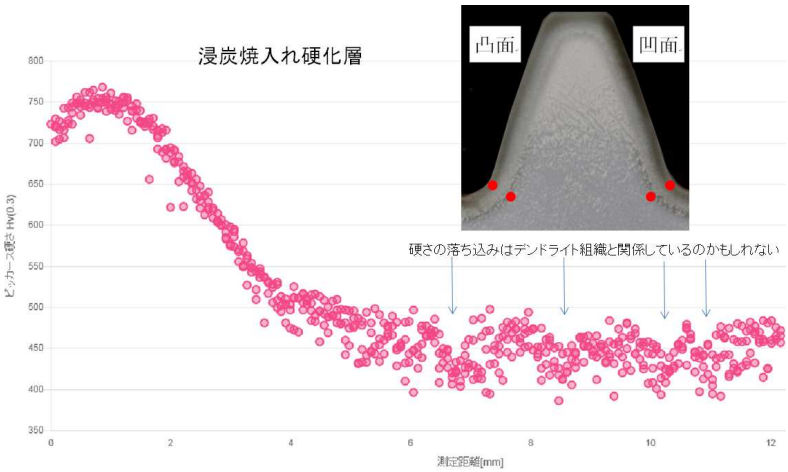
公益財団法人 応用科学研究所 社会人教育プログラム　　担当理事 京都大学名誉教授 久保愛三

鐵を識る

2018年度

グローバリゼーションのために、鋼種名だけで世界中から安い鋼材が手配されます。製品コストを下げるため、鉄の鍛錬が十分に行われない事や、歩留まりを良くするために鐵中に異常な不純物が紛れ込んでいることがかなりあります。カタログやミルシートでは性能に変化が無いはずなのに、その材料を用いた機械の絶対性能がかなり落ちる結果になります。また、熱処理が不備でトラブル の発生していることも多くあります。一方、大学では、基盤ハード分野の研究教育がおろそかになり、人材育成が難しくなっています。公益財団法人応用科学研究所は、技術立国日本を支える鐵と機械要素を利用する機械技術者に、工業の基幹である鐵についての基礎から、各種処理の実務とその問題点についての教育を行う社会的責務があると感じています。日本トップクラスの講師陣を揃え、教育コース「鐵を識る」を受講者の要望を踏まえたプログラムで実施致します。鐵や熱処理ならびに歯車技術についての実務的な問題と対策が聞ける貴重な講習会です。日本が技術・産業立国として生きて行く上に不可欠の知識を機械技術者に与える場です。また、実技演習コースでは、世界最先端の設備をもつ本研究所の機械基盤研究施設の計測機器を使用して、持参された材料を評価します。産業界でいつも行き当たる問題を検証して行きます。

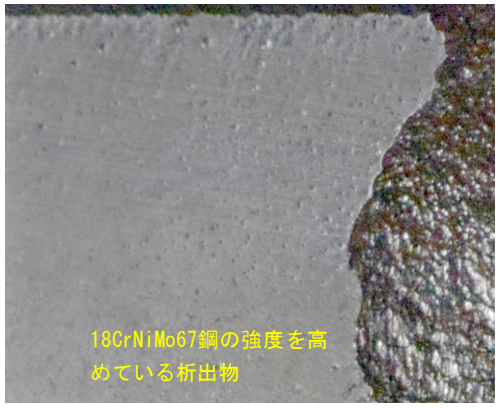




実施予定　原則として毎土曜日 13:00 – 17:00、1 コース　4 回開講

コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎												
実用												
実技演習												

次ページのカリキュラムをご参照の上、下記にお申し込みください



場所　　公益財団法人応用科学研究所
定員　　基礎・実用コース:　20名、実技演習コース:　8名
参加費：コース I、II　　6万円/人　　コース III　　12万円/人
　　スポット　2万円/人回　　スポット　4万円/人回
　　消費税は別途申し受けます。
申込先　〒606-8202 京都市左京区田中大堰町49
　　公益財団法人応用科学研究所
　　E-mail: secretariatik@rias.or.jp
　　Tel: 075-701-3164　　Fax: 075-701-1217
（定員になり次第、締め切らせていただきます

応用科学研究所は、京都大学工学部の電気・冶金・機械系の名誉教授が直接運営している公益財団で、エジソンの竹炭フィラメントに遅れること約20年でタングステンフィラメントを、また、昭和14年に高周波焼入技術を開発するなど、金属・電気・機械の基盤技術の研究をしています。現在、本研究所の研究成果、技術を社会・日本の工業に移転するための共同研究も実施しています。